

おのえきTIMES

春号

今、地方の駅にできること

「やるぞ尾道！私たちの夢と未来はこっからじゃ！」



\ローカルがいい毎日 /

届いたのは、1,000通以上。

これは、利用者のみなさんが旧尾道駅の壁にもらった「ありがとう」の数。

125年の間、毎日、尾道駅は人と街、暮らしをつなぎ、親しまれてきました。

新しくなっても、私たちの駅は「移動」と「消費」のためだけの場ではなく

「交流」と「愛着」を育むような駅がいい！

『おのえきTIMES』は、「お！コレええじゃん」「尾道オモロイわあ～」を
街に暮らす人々と一緒に見つけていきます。

“ローカルがいい毎日”。新たな尾道がここからはじまります！



「やるぞ尾道！ 私たちの夢と未来はこっからじゃ！」

今、地方の駅にできること

2019年3月10日（日）、JR尾道駅新駅舎が開業。これからの街づくりの中心的役割を担う存在となる尾道駅。

「地方の駅だからこそできること」「地方の駅としての今後のあり方」について、JR尾道駅長 片岡茂樹さん、尾道市長 平谷祐宏さん、せとうちホールディングス代表取締役社長 森賢一さんの3名に語っていただきました！



尾道市長 平谷 祐宏 [ひらたに ゆうこう]

趣味はサイクリングとスポーツ観戦。
尾道で好きなスポットは“渡船の上”。

尾道駅長 片岡 茂樹 [かたおか しげき]

食と絶景を求めて旅する時刻表鉄たまに乗り鉄。『喫茶 NEO』や『食堂ミチ』で飲む仕事帰りの一杯を楽しみにしている。

建築家カク語りキ

街と暮らしに 溶け込む 新たな尾道駅

駅は街の一部であり、鉄道の音は街の心拍音と言えるかもしれません。地域の方にとって生活の一部としてストレスなく使え、旅人にとってはワクワク感を与える場所でなくてはならない駅。「駅＝多様な人々が集うコミュニティの場」になれば、地方の暮



初代駅舎（提供：尾道学研究会）

らしさはもっと楽しく豊かになるはずです。新駅舎の1階コンコースは光と風を感じられるように吹き抜けを設け、2階には尾道水道を望む展望デッキを設置。駅全体が利用客や地域住民の憩いの空間となるようにと考えました。

尾道駅は元々、プラットホームが地面と同じ高さにある地上駅なので、電車を降りたらそのまま町へ吸い込まれるような感覚を味わえます。そこで、全体のデザインも尾道の風土を活かし、街並みに溶け込むように設計。駅舎の背面には、山の手の斜面に建つ様々な瓦屋根が広がっているのですが、坂の街に



2代目駅舎（提供：尾道学研究会）

は人の手によって育まれた独特の柔らかさがあると思っています。そこで、瓦屋根や深い軒といった初代尾道駅舎の趣を踏襲し、駅舎の屋根瓦と各家々の屋根瓦とのバランスを考慮。駅舎の屋根を見上げると、導かれるように視線が背景へとつながっていく…。千光寺山と駅舎の屋根が一体となって景観を形成します。尾道の風景に建物が自然と溶け込むように、駅という場所が人々の何気無い日常に溶け込む。尾道駅が、人々が集い、賑わいを創出する場所になることを願っています。また、駅が賑わいの中心となることで愛着が生まれ、地域の方にとってわが街の誇りだと感じてもらえたなら良いですね。



塚本由晴 [つかもと よしはる]
(建築家／アトリエ・ワン代表)

片岡 尾道駅は瀬戸内の十字路

路と呼ばれ、交通の要衝として発展してきました。駅舎リニューアルにあたってを目指したのは、街の情報や地域の産品を手に入れられる場にする。そして、人が集い、交流する場にすることでした。鉄道が街に自然と溶け込んだ尾道の地だからこそ、賑わいを生み出し、尾道らしさを感じていただけの場所にすることが駅には求められていると想います。

片岡 港と駅がとても近く、船と列車の利用が主だった時代は駅が賑わいの拠点だった。時代の変遷によって交通体系が変わり、駅前から賑わいが遠ざかっていましたが、この先再び生活や観光といった賑わいの中心が駅や港になっていくでしょう。サイクリングも就航し、“瀬戸内の駅”としてもますます注目を集めています。尾道駅は未来を感じる駅。「やるぞ尾道！私たちの夢と

人が集い、交わることで尾道駅から賑わいが生まれる

——片岡 茂樹



駅ビルを建てるのではなく、尾道の街に合ったサイズ感や店舗構成で計画されました。

森 建築家の先生曰く、

駅周辺の風景が何よりの財産だと。瓦屋根が不規則に並ぶ山の手や尾道水道を借景とし、街と一緒になる駅舎に光と風を感じる駅舎になりましたね。

片岡

私も含め、出身者でなくともどこか懐かしくホツとする。尾道はそんな街です。駅でもその魅力を体感してほしいと思います。

建築家の先生曰く、

駅ビルを建てるのではなく、尾道の街に合ったサイズ感や店舗構成で計画されました。



左から、中原朗校長、三阪昂星くん、奥田啓太くん、平田俊彦先生。

「実社会に近い環境で学んでもらいたい。実践的・体験的な活動こそ商業科が目指すビジネス教育。このプロジェクトに携わったことが生徒の自慢になります。」
とお楽しみに！



食を通じて地域を盛り上げて行くことをを目指す『おのまる商店』。その看板商品が“尾道を包んで食べる”をコンセプトにした巻きおにぎり「せとうち巻き」だ。メニュー開発を地域住民と共にし、街とともに成長していくことを目指すべく、第一弾は広島県立尾道商業高等学校の生徒たちとコラボレーションを実施。

地元学生たちが考案！ 尾道愛あふれるメニューを

「実社会に近い環境で学んでもらいたい。実践的・体験的な活動こそ商業科が目指すビジネス教育。このプロジェクトに携わったことが生徒の自慢になれたのかはぜひ『おのまる商店』の店頭をチェック。また、せとうち巻きは1年を通して様々な商品がお目見えする予定なので、今後どのような味に出合えるのか、お楽しみに！」

り、今後の人生の自信につながる。大変かもしれないが、必ず良い思い出になると思った」と言う平田先生の協力もあり、3年生の必修科目「課題研究（観光文化研究）」を選択する生徒30人が9つの班に分かれ、「尾道の食材を使う」“高校生をターゲットにする”といったお題をもとにメニューを考えた。

尾道新名物 せとうち巻き 誕生秘話



What's せとうち巻き？

かつて、瀬戸内の漁師たちが舟の上で食べていた海苔巻きスタイルのおにぎりを現代風にアレンジ。具材には瀬戸内の「海の幸、山の幸」を使用する。

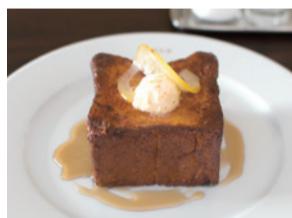


高校生の自由な発想が爆発！ ユニークなメニューたち



尾道駅 店舗情報

2F 喫茶 NEO



喫茶ネオ

自由でレトロな尾道の空気が漂う喫茶店。落ち着いた空間で提供する料理は、喫茶メニューでありながら味は本物志向。朝から夜まで気分に合わせた過ごし方ができるまちのサードプレイス。

0848-29-9332 [平日] 10:00-23:00
[土日祝] 8:00-23:00

2F m³ HOSTEL



エムスリーホステル

コンパクトでありながら天井の高さを活かした空間が特徴的なホステル。窓からは、ホーム・線路・尾道を感じる景色を眺めながら、穏やかな時を感じられます。

0848-29-9330 [チェックイン] 15:00-22:00
<https://m3hostel.com> [チェックアウト] 10:00

1F おのまる商店 ONOMARU SHOUTEN



おのまる商店

尾道の山と海の幸を包む巻きおにぎりスタンド、ローカルファストフードが楽しめるカフェ、お土産・食品・グッズを扱うショップ、ポタリングに最適なレンタサイクル。地域の食やアイテムを通じて、尾道のまちへつながりをつくるショップです。

0848-29-9334 [カフェ・ショップ] 7:30-19:00
0848-29-9335 [おにぎりスタンド] 7:30-17:00
[レンタサイクル予約専用] [レンタサイクル] 9:00-17:00

1F 食堂 ミチ



食堂ミチ

お馴染みの食堂メニューを中心に、尾道の郷土料理から発想した料理がカウンターに並ぶまちの大衆食堂。お昼は定食、夜は仕事帰りの一杯。色濃くも親しみのある食堂です。

0848-29-9337 [平日] 昼 11:00-14:00
休 水曜日 夜 17:00-22:00
(祝日の場合営業) [土日祝] 11:00-22:00

1F 7-ELEVEN Heart-in



セブン - イレブン ハート・イン

おにぎり・サンドイッチからお総菜、冷凍食品、生活用品はもちろん、尾道独自のお土産まで幅広く取り揃えています。セブン銀行 ATM やマルチコピー機など、駅をご利用のお客さまに便利で安心なサービスを提供します。

0848-22-4521 5:30-23:30

1F Tourist Information



観光案内所

尾道・しまなみ海道の観光パンフレットを取り揃え、多彩な情報を提供しています。自転車の空気入れも完備。お気軽にお立ち寄りください。

0848-20-0005 9:00-18:00
休 12/29~12/31 English OK